

令和4年度 第2回美術館協議会

1 日 時 令和4年12月20日(火)10:00~

2 開催場所 みき歴史資料館 3階講座室

3 議 題

(1) 報告事項

ア 令和4年度 上半期実施事業状況(会議資料1)

イ 令和4年度 下半期実施事業計画(会議資料2)

(2) 協議事項

ア 令和5年度 展示事業計画案(会議資料3)

イ 美術館事業今後の方向について

ウ その他

4 出席者

(1) 委員 山下泰生会長、石田満美副会長、生田淳仁
公森 仁、神戸滝子、高谷美貴子、米村 環

(2) 事務局 本岡教育総務部長、金井文化・スポーツ課長兼館長
西馬副課長、人見美術館専門員、蔭木事務職員
和田事務職員

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴人の数 0人

7 会議内容

開会 会長開会の挨拶

-事務局報告-(1)ア 令和4年度 上半期実施事業状況
(会議資料1)

会長:まず報告事項、令和4年度上半期実施事業状況、下半期実施事業計画。
順番にご報告ご説明お願いします。

事務局:4月からスタートし、5月のよねざわともみ展では1000人を超える来館者があった。地元の作家のパーを改めて感じ、また大切にしていかなければならないと感じた。上半期としては、コロナ禍で波があるところもあるが、順調に来館者は増えてきているのではないかと思う。

-事務局報告-(1)令和4年度 下半期実施事業計画

(会議資料2)

事務局:上田桑鳩展を前期、後期と2回に分けて開催した。展覧会は多くの方に来館いただき無事に終わったが展覧会後は堀光コレクションに、数点残して展示している。「堀光に来れば桑鳩さんの作品を観られる」と思って頂きたい。今年度末まで展示する予定である。

その後はしづがき展、二人展、チョークアート展、ペン画展を開催予定である。

1月は木版画の摺り体験があり、2月は地元の小学校が来館し、鑑賞とワークショップを計画している。顔はめパネルなども展示の一部とし、子どもから大人まで楽しめる展覧会になっている。

今年度最後が、阪神間でネコ作家として活躍中の山田貴裕さんの展覧会を開催予定。久しぶりにお雛様スタンプラリーを実施する予定である。

委員:今後桑鳩さんのお弟子さんなどの作品などを寄贈してもらう予定などはあるのか。

事務局:お弟子さんの作品等については、現在のところはまだ寄贈いただくようなところは、考えてない。

委員:上田桑鳩さんのコレクションは点数からいっても、おそらく日本一のコレクションだと思う。今後そのコレクションをどうするのかという方針を作っていただいて、まちづくりに生かすような方向に持って行っていただきたいと思う。

副会長:1回展覧会をやっただけで終わるのは非常にもったいない。資料をどうやって保存するのかということは本当によく相談して、決めて欲しいと思う。

委員：上田桑鳩展では県外の方も来館し、講演会も盛り上がっていたと思う。堀光で書の展覧会ができてよかった。

-事務局報告-(2)ア令和5年度 展示事業活動計画案

(会議資料3)

事務局：来年度は松原政祐展から始まり、美術協会展や池内悦子展を開催する。また、コロナ禍で延期になっていた雲丹亀利彦展も開催予定である。秋には上田桑鳩展の3回目を企画している。寄贈された作品で今年度紹介できなかった作品を中心に展示する予定である。

2月には鉛筆画の作家の展覧会を計画している。猫などの生き物をリアルな描写で表現する作家で、三木市在住の作家でもある。来年度最後は久しぶりに堀光コレクション展をしてみたいと考えている。

ひとつひとつの展覧会の間が非常に短いので来年度は少し時間の余裕を持って職員も準備できるような日程で計画したいと思う。

委員：来年度の一番最後のコレクション展ですが、例えばどのような絵画があったり、立体造形があったりなど、ホームページで公開をしているのか。

専門員：大橋翠石などの作品を堀光コレクションとして展示した様子はホームページで紹介した。

パワーポイントで映像を見ながら美術館の活動を解説

- 各展覧会の様子
- トライやるの美術館での活動の様子
- 今後考えられる取り組みの紹介

会長：スライドを作っていただくと、ビジュアル的にも分かりやすいのいいと思う。この美術館の活動の一環でホームページもどんどん活用してほしい。これで第2回の美術館協議会を閉会させていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

閉会 会長挨拶